

海水核種分析結果 < 沿岸 福島第一原子力発電所 >

参考値

(データ集約 : 1/15)

採取場所	福島第一 5,6号機放水口北側 (5,6号機放水口から北側に約30m地点)		福島第一 南放水口付近 (1~4号機放水口から南側に約1.3km地点)		炉規則告示濃度限度 (Bq/L) (別表第2第六欄 周辺監視区域外の 水中の濃度限度)
試料採取日時時刻	2016年1月14日 8時25分		2016年1月14日 6時25分		
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	
I-131 (約8日)	ND(1.1)	-	ND(0.62)	-	40
Cs-134 (約2年)	ND(0.84)	-	ND(0.63)	-	60
Cs-137 (約30年)	ND(0.64)	-	ND(0.69)	-	90

炉規則告示濃度は、「Bq/cm³」の表記を「Bq/L」に換算した値

その他の核種については評価中。

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。

海水核種分析結果 < 沿岸 福島第一原子力発電所 再測定 >

(データ集約 : 1/15)

採取場所	福島第一 5,6号機放水口北側 (5,6号機放水口から北側に約30m地点)				福島第一 南放水口付近 (1~4号機放水口から南側に約1.3km地点)				炉規則告示濃度限度 (Bq/L) (別表第2第六欄 周辺監視区域外の 水中の濃度限度)
	2015年12月21日 8時50分		2015年12月28日 8時20分		2015年12月21日 6時20分		2015年12月28日 6時20分		
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	
Cs-134 (約2年)	0.018	0.00	0.030	0.00	0.018	0.00	0.012	0.00	60
Cs-137 (約30年)	0.079	0.00	0.14	0.00	0.075	0.00	0.054	0.00	90

炉規則告示濃度は、「Bq/cm³」の表記を「Bq/L」に換算した値

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。

詳細分析(リンモリブデン酸アンモニウム吸着捕集法)による分析結果を記載。

分析機関：(財)九州環境管理協会

海水核種分析結果 < 沿岸 福島第二原子力発電所 >

参考値

(データ集約 : 1/15)

採取場所	福島第二 北放水口付近 (3,4号機放水口付近) (福島第一から約10km地点)		福島第二 岩沢海岸付近 (1,2号機放水口から 南側に約7km地点) (福島第一から約16km地点)		炉規則告示濃度限度 (Bq/L) (別表第2第六欄 周辺監視区域外の 水中の濃度限度)
試料採取日時	2015年12月22日 9時50分		2015年12月22日 11時00分		
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	
Cs-134 (約2年)	0.0098	0.00	0.0070	0.00	60
Cs-137 (約30年)	0.037	0.00	0.030	0.00	90

炉規則告示濃度は、「Bq/cm³」の表記を「Bq/L」に換算した値

その他の核種については評価中。

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。

詳細分析 (リンモリブデン酸アンモニウム吸着捕集法) による分析結果を記載。

分析機関：東京パワーテクノロジー (株)

海水核種分析結果 < 沿岸 福島第一原子力発電所 20km圏内 >

(データ集約 : 1/15)

採取場所	請戸港南側 (5,6号機放水口から北側に約5.5km地点)		炉規則告示濃度限度 (Bq/L) (別表第2第六欄 周辺監視区域外の 水中の濃度限度)
試料採取日時刻	2015年12月22日 9時35分		
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	
Cs-134 (約2年)	0.0083	0.00	60
Cs-137 (約30年)	0.031	0.00	90

炉規則告示濃度は、「Bq/cm³」の表記を「Bq/L」に換算した値

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。

詳細分析(リンモリブデン酸アンモニウム吸着捕集法)による分析結果を記載。

分析機関: 東京パワーテクノロジー(株)

海水核種分析結果 < 1/3 >

(データ集約: 1/15)

採取場所 (地点番号)	福島第一 5,6号機放水口北側 (5,6号機放水口から北側に 約30m地点)(T-1)		福島第一 南放水口付近 (1~4号機放水口から南側に 約1.3Km地点)(T-2-1)		/		炉規則告示濃度限度 Bq/L (別表第2第六欄 周辺監視区域外の 水中の濃度限度)
	試料採取日	2015年12月7日		2015年12月7日		/	
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	
I-131 (約8日)	ND(0.65)	-	ND(0.62)	-	/	/	40
Cs-134 (約2年)	ND(0.68)	-	ND(0.63)	-	/	/	60
Cs-137 (約30年)	ND(0.78)	-	ND(0.67)	-	/	/	90
H-3 (約12年)	ND(1.5)	-	ND(1.5)	-	/	/	60,000
全	ND(2.0)	-	ND(2.0)	-	/	/	-
全	14	-	10	-	/	/	-
Sr-90 (約29年)	0.021	0.00	ND(0.0075)	-	/	/	30

炉規則告示濃度は、「Bq/cm³」の表記を「Bq/L」に換算した値
 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。
 I-131, Cs-134, Cs-137, 全 については、2015年12月8日公表, H-3については、2015年12月11日公表。
 NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。
 Sr-90の分析は日本分析センターにて実施。

(評価)

全 放射能, Sr-90が検出されており, 今回の事故による影響と考えられるが, Sr-90の濃度は, 告示に定める水中の濃度限度を下回る状況である。

海水核種分析結果 < 2/3 >

(データ集約 : 1/15)

採取場所 (地点番号)	福島第一 敷地沖合15km(T-5) 上層		請戸川沖合3km (T-D1) 上層		福島第一 敷地沖合3km(T-D5) 上層		炉規則告示濃度限度 Bq/L (別表第2第六欄 周辺監視区域外の 水中の濃度限度)
試料採取日	2015年12月2日		2015年12月2日		2015年12月2日		
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	
Cs-134 (約2年)	ND(0.0014)	-	0.0055	0.00	0.0022	0.00	60
Cs-137 (約30年)	0.0041	0.00	0.024	0.00	0.011	0.00	90
H-3 (約12年)	ND(0.32)	-	ND(0.32)	-	ND(0.32)	-	60,000
全	ND(1.9)	-	ND(1.9)	-	ND(1.9)	-	-
全	ND(17)	-	ND(17)	-	ND(17)	-	-
Sr-90 (約29年)	ND(0.0070)	-	ND(0.0072)	-	ND(0.0069)	-	30

炉規則告示濃度は、「Bq/cm³」の表記を「Bq/L」に換算した値

試料濃度が「-」とは、測定対象外を示す。

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

Cs-134, Cs-137については、2016年1月6日公表。

NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。

Sr-90の分析は日本分析センターにて実施。

(評価)

今回測定した試料からはH-3, 全 放射能, 全 放射能, Sr-90は検出されなかった。

海水核種分析結果 < 3/3 >

(データ集約: 1/15)

採取場所 (地点番号)	福島第二 敷地沖合3km(T-D9) 上層						炉規則告示濃度限度 Bq/L (別表第2第六欄 周辺監視区域外の 水中の濃度限度)
	試料採取日	2015年12月2日					
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	
Cs-134 (約2年)	ND(0.0013)	-					60
Cs-137 (約30年)	0.0049	0.00					90
H-3 (約12年)	ND(0.32)	-					60,000
全	ND(1.9)	-					-
全	ND(17)	-					-
Sr-90 (約29年)	ND(0.0073)	-					30

炉規則告示濃度は、「Bq/cm³」の表記を「Bq/L」に換算した値

試料濃度が「-」とは、測定対象外を示す。

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

Cs-134, Cs-137については、2016年1月6日公表。

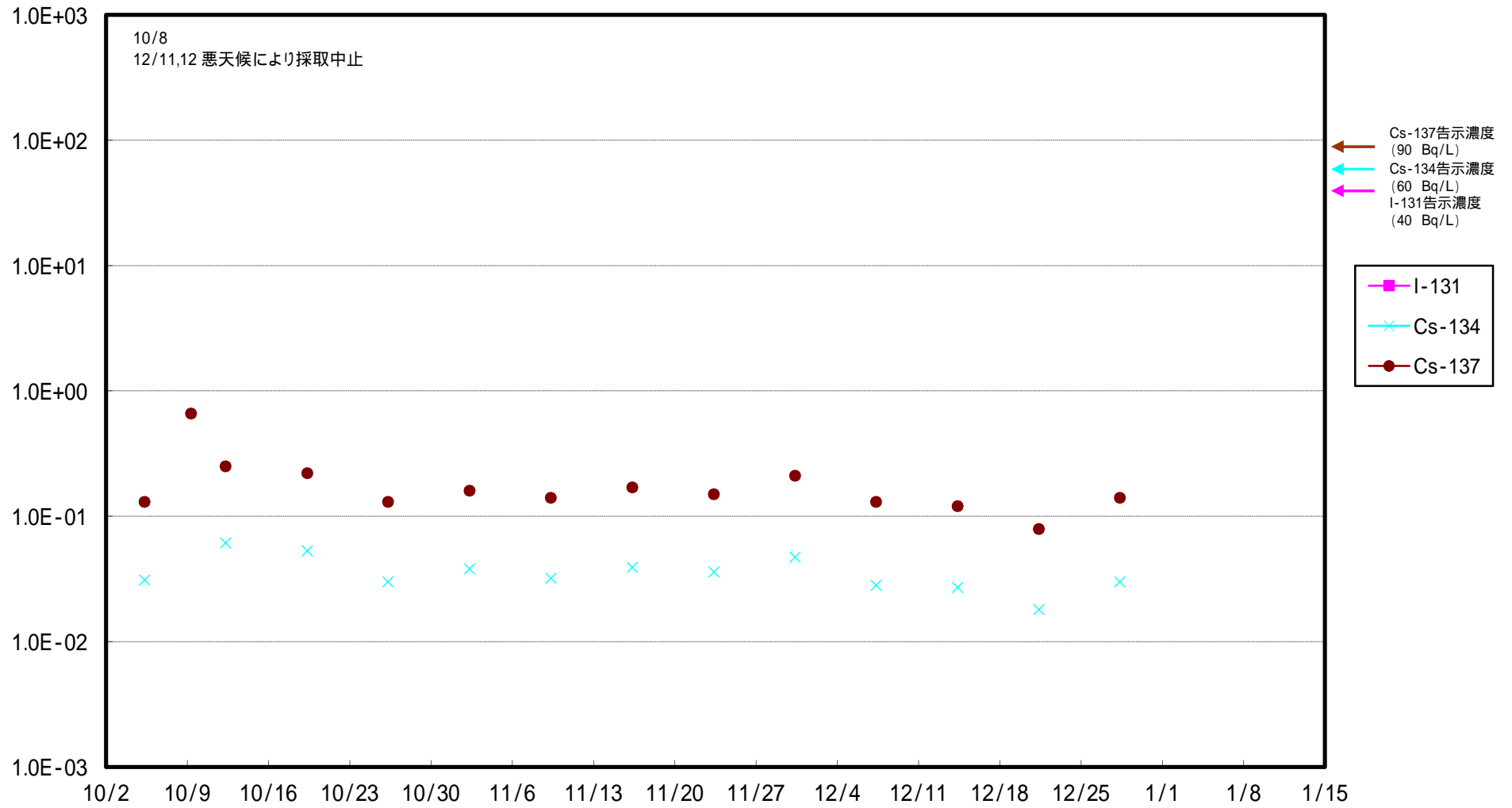
NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。

Sr-90の分析は日本分析センターにて実施。

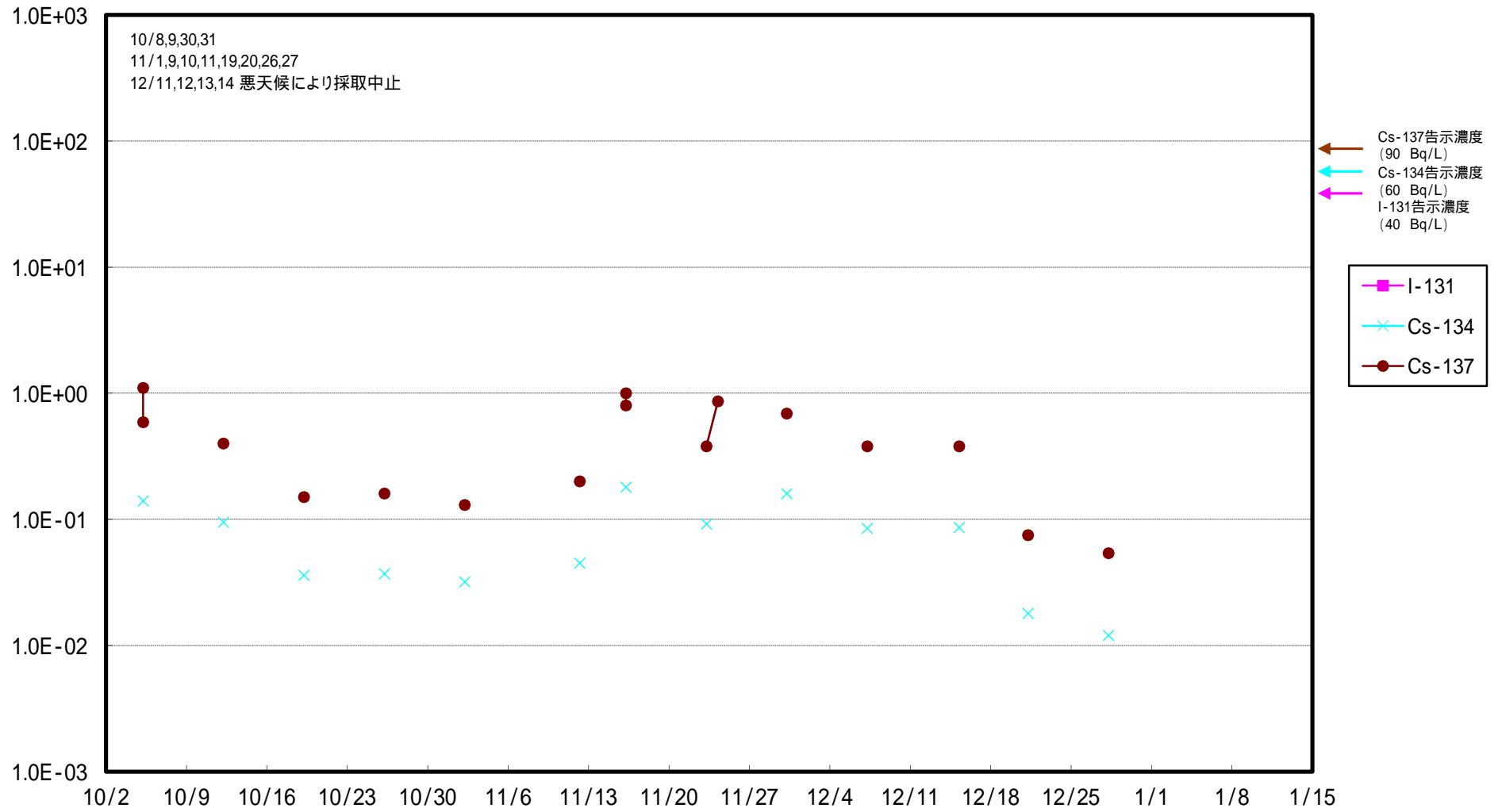
(評価)

今回測定した試料からはH-3, 全 放射能, 全 放射能, Sr-90は検出されなかった。

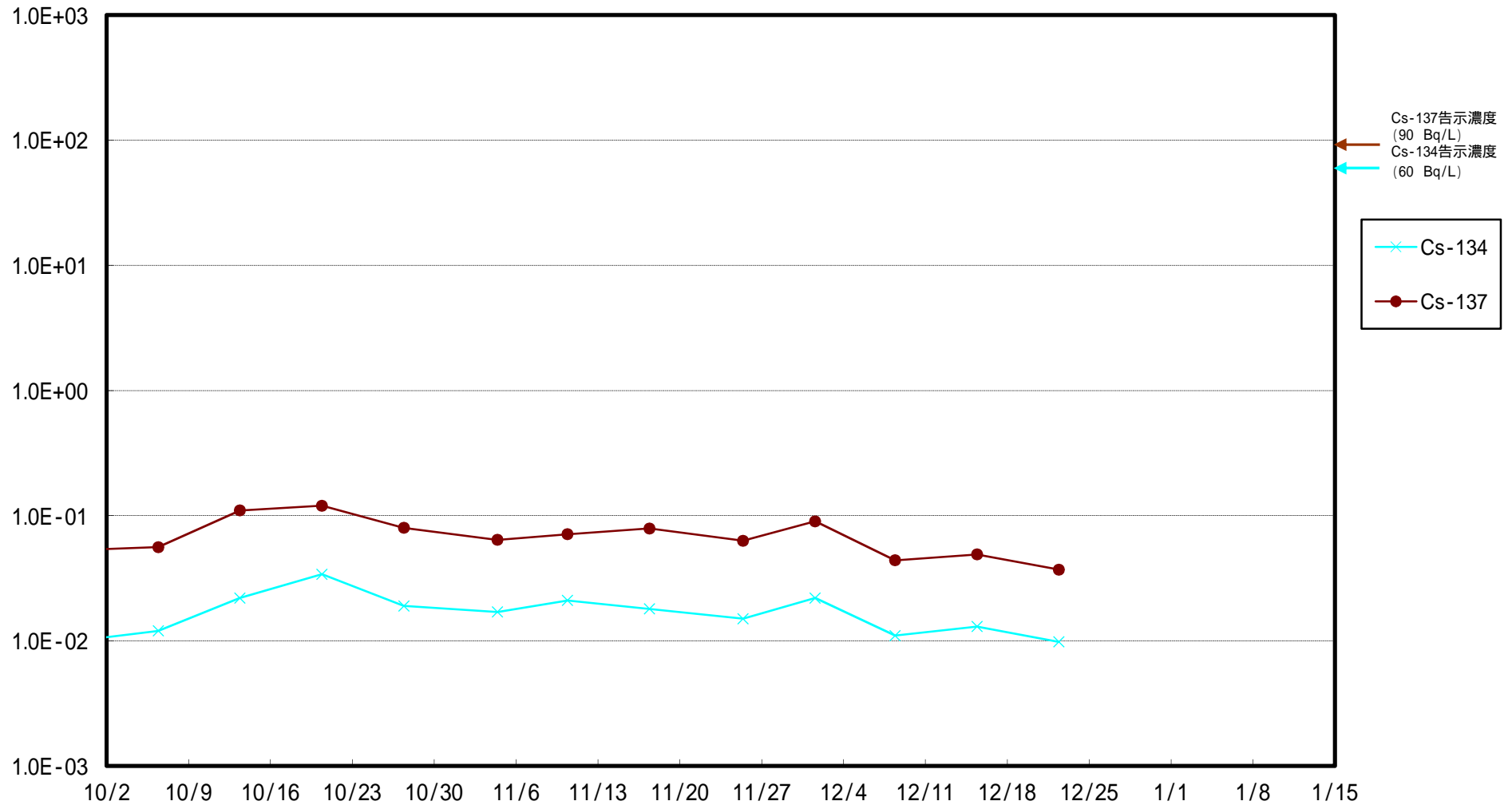
福島第一 5,6号機放水口北側 海水放射能濃度 (Bq / L)



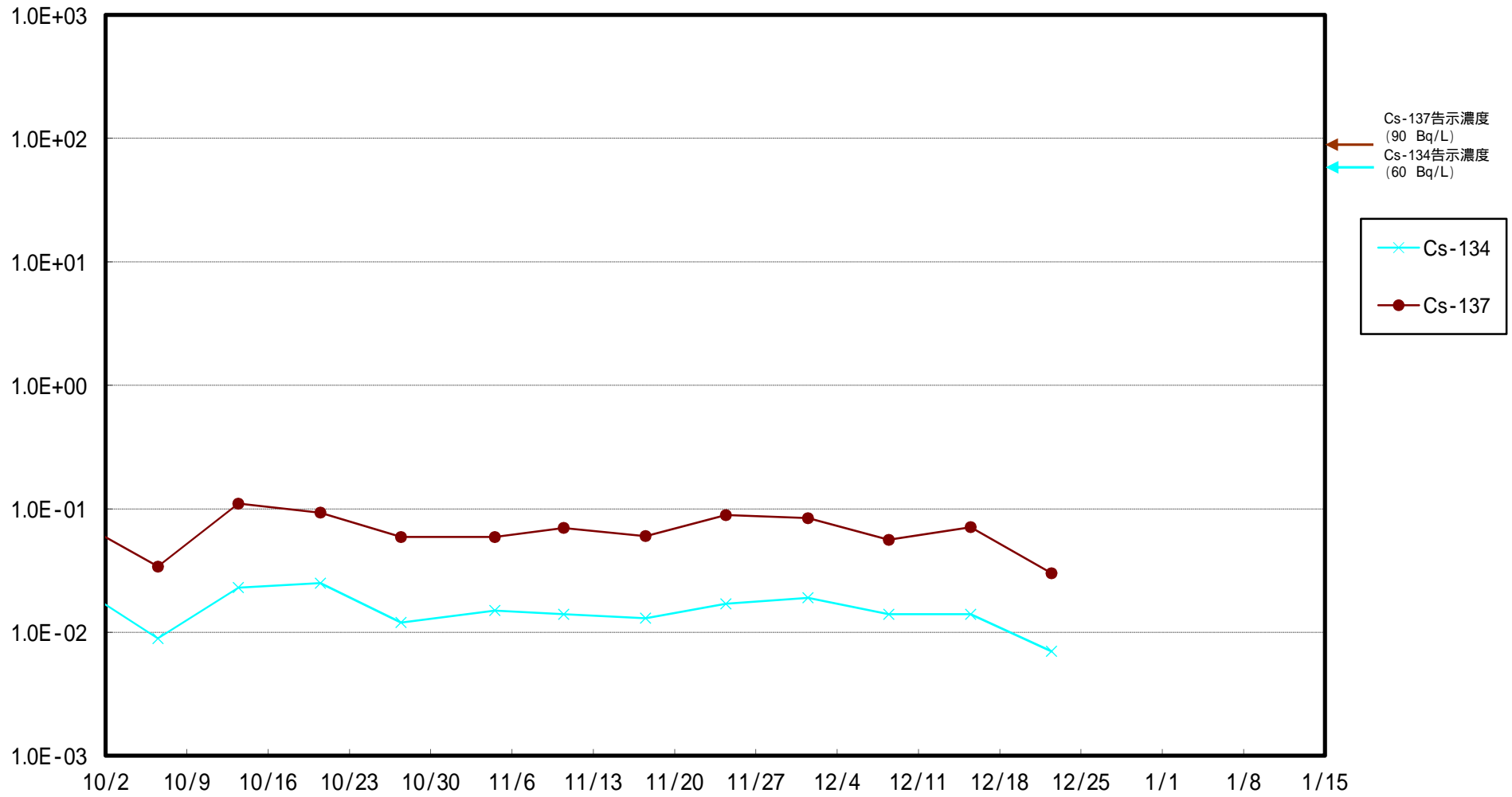
福島第一 南放水口付近 海水放射能濃度 (Bq / L)



福島第二 北放水口付近 海水放射能濃度 (Bq / L)



福島第二 岩沢海岸付近 海水放射能濃度 (Bq / L)



請戸港南側 海水放射能濃度 (Bq / L)

